

2023世界卓球選手権ダーバン大会(個人戦)男女日本代表選手選考の考え方

- 大会期日：2023年5月22日～6月11日この間で10日間程度の予定 南アフリカ：ダーバン
- エントリー数：男女シングルス最大各5名、男女ダブルス最大各2ペア、混合ダブルス最大2ペア（全種目予定）

1. ステージ1（アジア地域予選会：東アジア）

(1) アジア地域予選会（東アジア）にて16名の選手が選出されアジア大陸予選会に出場できる。（日本からは最大5名まで出場可能）

*アジア地域予選会（東アジア）は2022年5月27日までに開催が決定しなかったため、ステージ2へと進む。

2. ステージ2（アジア大陸予選会）

(1) アジア大陸予選会は2022年10月～12月に開催予定である。

(2) 東アジアから16名、他の地域から64名（16名×4地域）+WRにて16名選出、合計96名によるアジア大陸予選会開催。（日本から最大5名出場可能）

(3) アジア大陸予選会から世界選手権大会にはシングルス16名～20名、男女ダブルスと混合ダブルスは各10ペア前後が出場できる予定。（日本からは最大シングルス5名、男女ダブルス各2ペア、混合ダブルス2ペア）

(4) アジア大陸予選会の直前に上記1のアジア地域予選会（東アジア）がATTU主催で別途、開催される可能性もある。

(5) アジア大陸予選会（及びATTUが開催可能性のある東アジア地域予選会）の選手選考は以下の基準とする。

①パリオリンピック選考ポイント上位から日本の枠に達するまで。（最大5名）（ポイント表は別添）

※予選会代表に棄権者が出た場合は順次繰り上げて代表とする。

a. 2022年3月5日・6日開催の「2022 LION CUP TOP32」

b. 2022年8月13日・14日開催の「Tリーグ個人戦」

c. 2022年9月3日・4日開催の「第2回 Road to Paris 選考会」

d. 2022年11月12日・13日開催の「第3回 Road to Paris 選考会」

※アジア大陸予選会が2022年11月18日以前に開催の場合(d.の開催日時がアジア大陸予選会に間に合わない場合)は対象外となる。

e. 2022年9月～アジア大陸予選会30日前までのTリーグ2022-2023レギュラーシーズン大会、団体戦中のシングルスおよびビクトリーマッチが対象。

※該当期間のトータル試合数に差がある場合は、一番試合数の少ないチームに合わせ調整する。

②男女ダブルス及び混合ダブルスのペアリングについては強化本部にて決定する。

(6) アジア大陸予選会が未開催の場合はITTFの指示に従う。

(7) ステージ3へ進む。

3. ステージ3（世界選手権：代表権）

(1) 上記2. (3)の選手に加えシングルス32名、男女ダブルス及び混合ダブルス各15ペアがWRにて選出される。

（日本からは最大シングルス5名、男女ダブルス各2ペア、混合ダブルス2ペア）

(2) 日本が獲得した出場枠はアジア大陸予選会に出場した選手及びペアに与えられる。

4. 補足基準

(1) 代表決定者が故障等で参加が不能となった場合、その代替選手は2023年1月末時点のパリオリンピック選考ポイントから順次繰り上げて選出する。但し、ITTFの「世界選手権選手免除委員会」の許可が必要となる。

(2) ITTFが出場人数制限等を発表し、本選考の考え方との齟齬が発生した場合は再度理事会で審議する。

*なお、他の国と地域の協会から日本卓球協会へ登録を移籍した選手は、ITTFの定める世界選手権出場資格要件を満たしていることが、選考の前提条件となる。

注：WR=ワールドランキング

以上